

# 私のひびく

## 輝かしい未来の担い手

代表 星川 芽衣(若葉町)  
田村 雄也(袖原)



新成人として皆様と共に成人式を向かえられ大変うれしく思います。小学校、中学校、高校を卒業し皆それぞれの道を歩み始めて数年が経ちます。振り返ってみると授業の一つ一つや、部活動、家族との関わり、友人と

遊んだことさえ、今の自分をつくる大切な一部となっていると感じています。私たちがいつも支えてくれた家族や、ご指導いただいた先生方、見守っていただいた地域の皆様のおかげで、このように成人を迎え



### あとがき

このたび、再び編集長を拝命しました。早々に銀山温泉避難勧告や選挙違反、庁舎建設の見直しを問う住民投票請求の臨時会が入り発行日を半月遅らせました。7月の改選後、新たなメンバー構成での初めての編集作業も、チームワーク良く、16ページの中に特集2本、報告2本を入れて発行することができました。これからもホットな話題を取り入れ、市民目線で、次号が待ち遠しくなる議会だよりをめざし力を合わせて編集していきます。

(塩原未知子)

## 表彰

### 議員15年表彰

石塚 ミツ子 前議員  
奥山 格 議員

平成27年6月17日に開催された全国市議会議長会定期総会において、永年にわたり市議会議員を務められた方々に対して表彰があり、9月定例会初日において表彰されました。

### 行政視察に 来市された議会

福岡県川崎町議会総務常任委員会(6人)が10月28日(水)行政視察に来られました。

### 議員15名が参加!

首都圏尾花沢会30周年記念の会に参加しました。



平成27年9月27日(日)  
東京都：アルカディア市ヶ谷

懇親会は145名の参加で盛大に行われました。



発行/山形県尾花沢市議会 編集/市議会だより編集委員会

市議会だより編集委員	委員長	塩原未知子
副委員長	小関 英子	
委員	大類 好彦	
委員	笹原 和子	
委員	伊藤 浩	
委員	鈴木 清	
委員	鈴木 裕雅	



# 市議会だより おばなざわ

### 9月定例会・10月臨時会

- 9月定例会・議会日誌……………2
- 決算特別委員会……………4
- 分科会委員長報告……………6
- 特集1 ふるさと納税……………7
- 10月臨時会……………8
- 一般質問……………9
- 広域組合議会報告
- 請願・報告1・報告2……………14
- 特集2 ザ・選挙……………15
- 私のひとこと・おとがき……………16

87号

平成27年11月1日発行

表紙写真

：まだし尾花沢ふれあい祭は今年15回目の秋の大収穫祭。恒例になった鶴子小学校の皆さんによる大根販売の学習は、今年も大反響！朝取り新鮮な野菜は売り子さんの元気な声に飛びふよに売れました。

# 9月定例会 平成26年度

一般会計歳出107億8,753万円 特別会計歳出



特別会計

国民健康保険特別会計事業勘定	23億5,891万円
中央診療所施設勘定	5億9,410万円
簡易水道特別会計	3億7,141万円
国営村山北部土地改良事業	5億6,573万円
農業集落排水事業特別会計	6,928万円
介護保険特別会計	17億9,585万円
後期高齢者医療保険特別会計	1億8,439万円

**『議会改革に議員一丸となって取り組みます』**

7月の市議会議員選挙後、公職選挙法違反で議員が逮捕される事件が発生。2ヶ月間にわたり、市民の皆様には大変お騒がせをし、多大なる迷惑をおかけしました。

議会は、市民の声を反映すべく機動的になすべきことをなすため、議会改革検討委員会を発足させました。議員定数はじめ、常任委員会の改編、議員政治倫理条例の設定などの議会改革に一丸となって取り組んでいき、その結果を報告していただきますのでよろしくお願いたします。

議長 菅野修一

9月	10月	11月
2日 議員表彰の伝達 9月定例会本会議（～16日） 3日 市民厚生常任委員会 産業建設常任委員会 5日 尾花沢中学校秋季大運動会 12日 市内小学校秋季大運動会 19日 尾花沢幼稚園運動会 24日 ひまわり保育園運動会 27日 議会運営委員会 29日 議会だより編集委員会 市民厚生常任委員会 首都圏尾花沢会総会 環境衛生事業組合議会 所管事務調査	1日 10月臨時会（～7日） 総務文教常任委員会 北村山広域行政事務組合議会 全員協議会 4日 第13回尾花沢市総合防災訓練 6日 みやぎ尾花沢会 10日 第15回まるだし尾花沢ふれあいまつり 18日 延沢城跡国指定史跡30周年記念式典・祝賀会 21日 庁舎建設検討委員会 25日 上柳小学校閉校記念式典 26日 総務文教常任委員会行政調査（～28日） 27日 市民厚生常任委員会行政調査（～29日）	9日 産業建設常任委員会行政調査（～11日）

# 決算を認定

59億3,967万円 歳出総額167億2,720万円



**補正予算の審議**

**Q** 福原工業団地の広告料について説明を求め。

**A** 福原工業団地への企業誘致のため、首都圏の主要駅29ヶ所にポスターを掲示し、業界誌などに広報を掲載する予定です。

**Q** 畜産生産拡大支援事業費補助金の内容はどんなものか。

**A** 既存の牛舎を、肥育用から繁殖用に改築するための補助金です。

**Q** マイナンバー制度の周知方法は、また委託金の内容は何か。

**A** 周知方法は市報・ホームページなどで、

**Q** 常盤保育園工事の内容は。

**A** F F式暖房の工事です。市内に4ヶ所保育園があるが、3保育園はF F式暖房の設置が終了しており、常盤保育園が最後の設置となります。保育室・遊戯室・職員室などの暖房器具設置工事費です。

**Q** 空き家を利用して、定住に結び付けてはどうか。

**A** 現在市で把握している28件の空き家のうち、150件が外観から見えて安全だと確認している。今後、家の内部水



周知していきます。委託金の内容は、マイナンバー通知カードの発行する業務全体を委託する計画です。



**Q** 花笠高原の修繕費は何の修繕か。

**A** ボイラーの修理で、オイルポンプなどの修

回りなどを調査し、実際に確か確認して空き家の整備・提供に取り組んでいく。

**Q** 地域活性化支援交付金の内容は。

**A** 地方創生先行型上乘せ分で、国からの交付金です。10月30日まで地方版総合戦略を策定した自治体に1千万円交付されるもので、福原工業団地PR事業。地域づくり事業。定住関係事業の、3事業を計画しています。

9月定例会は、9月2日から16日までの15日間の会期で開催されました。平成26年度各会計決算の認定7件、補正予算4件、条例の制定など5件、人事案件1件の合計17案件を慎重に審査した結果、いずれも原案のとおり可決しました。また、請願1案件を採択し、意見書提出の議案1件を可決しました。

継続費用です。

# 決算特別委員会

# 施策を問う

平成26年度の決算報告にチェック!

**Q** 商品券は26年度は15%、27年度は20%のプレミアム分である。

**商品券のプレミアム分20%維持**



道の駅尾花沢(ねまる)

**Q** 効果はどのくらいか。  
(奥山 格)

**A** 文化体育施設と道の駅尾花沢(ねまる)に設置しており、文化体育施設は4.8kw、道の駅では7.7kwの発電実績がある。用途として非常時の電源確保、事務室の照明、通信機器電源などに充てている。以前に設置した徳良湖温泉では街灯の電源に利用している。

**Q** 積載量が500kgとなっているので可能であると考えている。楽器の更新は現状を把握し財源と併せて前向きに検討したい。

**尾花沢中学校にエレベータ設置**

**Q** 設置が計画されているエレベータは給食や吹奏楽器の搬送も可能なものか。又、吹奏楽器の更新計画は。  
(鈴木 清)

**Q** 28年度も20%のプレミアムの継続をし、商店街の活性化に取り組んではどうか。  
(大類好彦)

**A** 全国で地方創生喚起型として行われているが、当市では従前から市・商工会・商店街協同組合の持ち合いで行ってきた。来年度については関係団体と協議して検討していきたい。



**予備消防団の増員は**

**Q** 消防団員が日中不在になる地域の予備消防団を増員する計画はあるか。  
(伊藤 浩)

**A** 現在消防団の再編を進めている。今後、部と班の見直しと併せて予備消防団員の増員も検討したい。

**Q** 路線バス利用者が減少している中、車両の小型化を進めてはどうか。又、今後予約制の運行も含めて市民が利用し易い運行方法を進めてはどうか。  
(小関英子)

**路線バス車両の小型化と予約制**

**A** 現在運行している9路線中6路線は利用者が減少しているが、朝夕は小中学生の利用もあるため総合的に判断し利用し易い運行にする。



**議** 長 菅野 修一  
前監査委員 須貝 孝  
決算特別委員長 塩原未知子  
3名は、役職の都合上質疑できません。



**資料館を広くPRすべき**

**Q** 芭蕉・清風歴史資料館での備品購入費の使い道と今後の誘客策はどうか。  
(笹原和子)

**A** AED1基と9基の展示ケース用LEDを購入し、今後の企画やイベントを実施の旅行会社20社や一般情報誌に企画やイベントを情報発信しております。

**選挙投票時間の繰上げを**

**Q** 投票日の遅い時間帯の入場者が減っているため投票時間を繰り上げてはどうか。  
(青野隆一)

**A** 期日前投票が定着してきた分、投票人数が減っていると考えている。期日前投票のあり方と併せて検討したい。



**ポスター掲示板の見直しを**

**Q** 各地区の選挙用のポスター掲示板の作成取付や15カ所の設置場所を減らすことは出来ないのか。又、選挙のたび掲示板は使い捨てか。  
(星川睦子)

**A** 公職選挙法に基づきポスター掲示場の設置条例に定められており投票区によっては、3カ所から本町の10カ所前後など、人口により増減できるが現在は、継続している。掲示板は破棄して処理しています。

**農業公社の設立を**

**Q** 尾花沢市に合った独自の農業振興策を実現するために農業公社の設立はどうか。  
(武田佳久)

**A** 本市の豊富な自然を生かした新たな生産企業は、農産物の販売と雇用の場となり地域の活性化にもつながるので、国では集落営農を推し進めている。今後国の動向を注視しながら検討して行きます。

**国道347号の活用を**

**Q** 国道347号の通年通行化で交流人口の増加が見込まれる。周辺の観光整備計画はどうか。  
(菅根光雄)

**A** 鍋越沼や宝栄牧場も観光スポットになる要素がある。周辺の観光地とのアクセスも含め関係機関で協議していきたい。



**レストラン徳良湖の誘客アップを**

**Q** レストラン徳良湖が老朽化のために維持管理が莫大になっているので、施設の整備、階段の撤去をし、誘客アップにつなげてはどうか。  
(加藤克彦)

**A** 平成二年にオープンしているために、かなり老朽化しているので、改修やリニューアルに関しては、計画的に関係課と話し合いを行っていきます。

**空き公共施設の利用計画は**

**Q** 尾花沢警察署が移転後に建屋を再利用する考えはないか。又、他の空き公共施設の有効活用についての考えはないか。  
(鈴木裕雅)

**A** 警察署が移転した後は県が解体の方針を示している。他の施設については荻袋小学校跡を利用し、他は解体したいと考えている。



**太陽光発電パネルの効果は**

**Q** 再生可能エネルギー導入の実績とその

# 「雪とスイカと花笠のまち」 ふるさと尾花沢応援基金報告

平成26年度は、延べ18,210名の方々から総額2億2,431万円の寄附をいただきました。以下の事業に活用させていただきました。

事業名	平成26年度	
	寄附金額(円)	件数
発祥地花笠おどりなど伝統文化の継承及び文化財整備のための事業	15,905,000	1,415
银山温泉を軸とした魅力ある観光地づくり及び産業の振興のための事業	32,452,001	2,947
尾花沢を彩る自然環境の保全及び景観の維持、再生のための事業	40,837,100	3,676
子育て環境づくりのための事業	60,311,106	5,386
事業指定のない寄附	74,807,461	5,345
計	224,312,668	18,769



花笠太鼓リニューアル事業 平成26年8月尾花沢まつりの様子



## 第1回おばね「絆」駅伝大会 平成26年6月29日

「絆」駅伝は、スポーツの喜びと感動を多くの市民に伝え、元気な地域をつくり、地域の連帯感を高めるために企画されたものです。

市内5地区から6チームが編成され、市内を1周する計24区間、38.8kmに及ぶコースを走りました。選手として、障がい者、幼児から熟年ランナーまでが参加し、また、沿道には多くの市民が応援にかけつけ、市を挙げてのスポーツの祭典となりました。

## ふるさと納税特選便

### Aコース 30,000円以上

「银山温泉」宿泊利用券1万円分  
各旅館厳選の季節のおもてなし



### Bコース 10,000円以上

そば焼酎「原幻」720ml×1本  
尾花沢本手打ちそばセット



### Cコース 5,000円以上



尾花沢産  
小玉スイカ2個

### Dコース 10万円以上



尾花沢米  
(はえぬぎ)  
精米120kg  
(5kg×2袋×12回お届け)

### Eコース 5万円以上



银山誕生こけし1本

※平成27年6月1日より拡充

# 決算特別委員会 分科会委員長報告

## 第1分科会 (総務文教)

実質公債費比率、将来負担比率など主な財政指標

詳細な説明を求め、本市財政が改善傾向にある旨の説明を受けた。今後とも限られた財源の中で、健全な財政運営に努めるよう要望した。

## 財政調整基金積立金

予算編成にあたっては、財政調整基金や公共施設整備等基金を有効に活用するとともに、各事業の案件を精査し、必要経費については、柔軟な予算執行が執行されるよう要望した。

## 財産管理費

公有地、また、空き公共施設の今後の取り扱いについて質したと

ころ、活用方法や処分方法などについて関係課と連携し協議して

きたい旨の説明があり、これを了承した。なお、維持管理にかかる経費の削減に努めるためにも、早急に利活用の方

向性を示されるよう要望した。

以上のことを踏まえ、付託された決算議案について採決した結果、いずれも原案のとおり認定すべきものと、意見の一致をみました。

## 第2分科会 (市民厚生)

### 路線バス運行費

市民の足を確保するため、利用状況に応じて便数の見直しや予約型交通の導入を実施されるよう要望した。

### 賦課徴収費

電算業務委託料や保守点検業務委託料について、経費削減に努力されるよう要望した。

### 老人福祉費

高齢者世帯の除雪支援や緊急通報システムの継続と充実を要望した。

### 保育所費

全保育園について、耐震性の安全が確保されていることを確認しました。一方、老朽化や駐車場の狭さが問題

なっている保育園があるため、環境向上を図られるよう要望しました。また、病後児保育について、可能な方法を話し合い、検討を要望した。

### 国土調査費

地籍調査事業について、コスト削減と調査

## 第3分科会 (産業建設)

尾花沢そば産地化推進事業

最上早生の品質の向上を図り、ブランド化を目指すように要望した。

### 花笠高原施設等修繕料

施設の老朽化が進む中、今後の修繕計画について検討するよう要望した。

### 有害鳥獣対策

簡易電気柵設置補助事業の周知と点検、指導を徹底していくよう要望した。

### 県立自然公園内の御所の整備

避難小屋や登山道の整備状況をふまえ登山者の安全確保のため適切な管理を要望した。

まえ、今後の在り方について、方向性を示していくよう要望した。

### 道の駅尾花沢指定管理料

産直農産品等の売り場面積を増やしていくなど、利用者の声を反映し中身の濃い道の駅づくりを行うよう要望した。

### 除排雪等業務委託料

降雪前にオペレーターを加えた打ち合わせを行っている地区があるとの説明を受け、他の地区も同じ取り組みを行い降雪前に住民から事前に理解を得られるよう要望した。

### 住宅リフォーム支援事業

今年度から制度拡充により、毎年度、申請可能となり利用しやすい補助制度になったこととの説明を受け、今後利用しやすい制度になるよう要望した。

# 10月臨時会

否決

## 賛成5 vs 反対9

### 尾花沢市新庁舎建設計画の見直しを問う住民投票条例の設定について

尾花沢の未来のまちづくりを考える会  
大類伸一代表の意見陳述(要約)

未来を左右する大きな事業であるのに市民に説明がない。市民の声を聞いてほしい。決して新庁舎建設に反対しているわけではない。新鶴子ダムの負担金の返済が終われば財政に余裕が出てくるなら、市民の生活向上のためにいろいろな事業をしてみたい。もともとまちづくりの観点から検討し、庁舎建設を市民みんなで考えるべきである。耐震が心配なら、今すぐでも仮庁舎を検討し、防災の点からも、リスクは分散してもっと市民を巻き込んだ見直しこそ検討すべきだ。今、尾花沢は市内のあちこちに使われなくなった公共施設や空き店舗が溢れている。「防災センター」「保健センター」は分離してコンパクトな庁舎建設はできないのか？これから人口が急激に減少する、未来に対する負の遺産を減らし、オリンピックまでに予想される資材高騰や人件費の高騰を考え、急がずにじっくりとまちづくりの議論を重ね、無駄のないよう身の丈にあった庁舎建設の見直しを求める。

○：賛成 ×：反対 /：議長 欠：欠席

## 記名投票による賛否状況

議案番号	案件名	表決の結果	鈴木裕雅	塩原未知子	菅原和子	伊藤浩	鈴木清	小関英子	武田佳久	大類好彦	星川睦子	青野隆一	奥山格	加藤克彦	鈴木敏正	菅野修一	須貝孝	菅根光雄
議第59号	尾花沢市新庁舎建設計画の見直しを問う住民投票条例の設定について	否決	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	欠	/	×	×

※記名投票：議員名が記載された賛成(白札)反対(青札)を投票箱に投入してその色札の数によって、賛否を決める方法。

賛成



塩原未知子

尾花沢の未来のまちづくりを考える会のみなさんは、新庁舎建設に反対している

わけではない。巨大地震や異常気象は明日にでも発生するかもしれない、老朽化した危険な庁舎は早急に機能を分散し仮庁舎の建設を検討すべきである。また、庁舎建設はまちづくりから見直す好機、「庁舎建設に関する住民アン

ケート(平成25年実施)の回答1千56名とほぼ同数の1千47名の署名(実名、住所、生年月日)を考え、真に「みんなで作る新庁舎」をめざすならば、市民が自ら求めてきたこの住民投票を実現させ、その賛否をまずは問うべきだ。

反対



菅原和子

日本は、世界は今、千年前の巨大地震の活動期に入っている。直ぐにでも災害時に備えて新庁舎建設をし、司令塔として、市民の安全を守る義務がある。来年度からは、経済的にも有利なため、将来へ借金も残さず、15年後の市民の皆様には大きな財産を残すことが今、我々の世代に課せられた大きな仕事であり、使命と責務である。

反対



伊藤浩

議会制民主主義の中で、市民の代表である市議会で積み上げてきた新庁舎建設に向けての議論や建設予算が再度見直しされることに大きな疑問を感じています。また、震災の教訓を前向きに捉え、来庁する市民の皆さんや中で働く市職員の皆さんの災害のリスクを早急に軽減しなければなりません。

反対



青野隆一

基本設計が示される前の住民投票は時期尚早だ。市民にしっかりと説明を行い、後年度負担の少ない庁舎建設を目指すべきである。○か×かの投票では、市民の意思の判断ができない。これまで2年間審議してきた市議会の責任放棄と考える反対する。

反対



須貝孝

現庁舎は、56年経過し老朽化が進んでいます。東北地方太平洋沖地震は、広範囲にわたる大きな被害をもたらした。当時現庁舎もライフラインが寸断し、又市民にも大きな不安感を与えました。生命第一に考え、庁舎は、市長、来客者、毎日働いている職員、市民を守るため、一日でも早く建替えるべきだと思います。耐震診断の結果倒壊、崩壊すると判定委員会より指導を受けた庁舎ですので反対討論とします。

## 医療費を高校生(18歳)と病院の窓口での無料化を!!



菅原 和子議員

Q 今年度の目玉事業として、安心して子育てできる環境づくりを推進しているが、現在中学校三年生までの医療費を無料としているところを、高校生までを無料、又病院の窓口での無料となるパスポートを発行してはどうか。

A 助成対象者を高校生までに拡大している県内の状況は、現在遊佐町が拡大しており、高校生までを拡大した場合財政負担も伴うので、県に対し助成対象の拡大要望し、子育てしやすい環境づくりにつとめてまいります。

Q 病気や怪我、又は

障がいにより、他の階へ昇降する事が出来ない子供達の為に、中学校にエレベーターの設置を早急に整備する事が望ましく、要望したい。

A 今病気や障がいを持つ児童生徒への配慮として、エレベーターの整備は急務と考えている。今年度より尾花沢中学校のエレベーター整備に着手しているが、保護者の皆様の早期設置に向けての要望も踏まえ、年度内に設置工事設計を実施し、来年度施工をめざしてまいります。



尾花沢中学校

Q 市税の納付方法として、コンビニ納付も取り組めば、市外での納付のほか、24時間納付可能なため、納付率アップに繋がると考えるがどうか。

A 市税等のコンビニ納付は県内で4割の市町が導入しております。この状況から本市でもコンビニ納付検討会議を開き、協議してきました。導入にあたっての、必要経費はコンビニ納付に伴うシステム改修に100万円、毎年の経費は、300万円となるが、住民サービスと納税環境を整備する為に必要と思われるので、今後、対象税目の検討と導入している自治体の導入後の収納率の状況調査を行いながら、実施する方向で検討しています。

賛成



菅原和子

日本は、世界は今、千年前の巨大地震の活動期に入っている。直ぐにでも災害時に備えて新庁舎建設をし、司令塔として、市民の安全を守る義務がある。来年度からは、経済的にも有利なため、将来へ借金も残さず、15年後の市民の皆様には大きな財産を残すことが今、我々の世代に課せられた大きな仕事であり、使命と責務である。

反対



塩原未知子

日本は、世界は今、千年前の巨大地震の活動期に入っている。直ぐにでも災害時に備えて新庁舎建設をし、司令塔として、市民の安全を守る義務がある。来年度からは、経済的にも有利なため、将来へ借金も残さず、15年後の市民の皆様には大きな財産を残すことが今、我々の世代に課せられた大きな仕事であり、使命と責務である。

反対



伊藤浩

議会制民主主義の中で、市民の代表である市議会で積み上げてきた新庁舎建設に向けての議論や建設予算が再度見直しされることに大きな疑問を感じています。また、震災の教訓を前向きに捉え、来庁する市民の皆さんや中で働く市職員の皆さんの災害のリスクを早急に軽減しなければなりません。

反対



青野隆一

基本設計が示される前の住民投票は時期尚早だ。市民にしっかりと説明を行い、後年度負担の少ない庁舎建設を目指すべきである。○か×かの投票では、市民の意思の判断ができない。これまで2年間審議してきた市議会の責任放棄と考える反対する。

反対



須貝孝

現庁舎は、56年経過し老朽化が進んでいます。東北地方太平洋沖地震は、広範囲にわたる大きな被害をもたらした。当時現庁舎もライフラインが寸断し、又市民にも大きな不安感を与えました。生命第一に考え、庁舎は、市長、来客者、毎日働いている職員、市民を守るため、一日でも早く建替えるべきだと思います。耐震診断の結果倒壊、崩壊すると判定委員会より指導を受けた庁舎ですので反対討論とします。

## みんなの新庁舎ならばもっと市民の声を聞くべきではないか!!



塩原未知子議員

Q 新庁舎建設に関して住民ワークショップをせよ。

A 基本設計のたたき台がようやく出来た、今後もっと市民の意見を集め、回数を増やし、各地区の説明会やワークショップを行う予定である。

Q 庁舎内の情報セキュリティは万全か。

A 来年1月からマイナンバー導入もあり情報セキュリティ、ネットワーク、ホームペー

Q 良質の水田を後世に残す事が今後の農政の鍵。国土保全の観点からも酒米の栽培や蓮田など水田としての活用を推奨すべきではないか。

A 平成27年度、本市で栽培されている酒米は「出羽燦々」「出羽の里」「山田錦」の3種類合計で4千2百俵を見込んでいます。蓮田は景観作物(10a17千円)、販売する作物として(10a11万2千円)は転作の交付対象です。今後、中山間地の水田維持に飼料米の他、蓮に限らず、収益が見込める作物の作付を推進し米の生産調整を推奨していきたい。

Q 長年築き上げてきた技術、品質、信頼を今後を守るため尾花沢すいかの「地理的表示保護制度(GIマーク)」を導入すべきではないか。

A 6月1日より、国では地域の農産品を守る「地理的表示保護制度(GI)」の登録がはじまった、県の勉強会にも参加して、農協と系統外についての課題などがありますが、海外輸出も見据え、申請に向けて前向きに検討していきます。



### 認定農家の要件緩和で 尾花沢の農業を守る



伊藤 浩議員

**Q** 将来に向けた尾花沢市の米政策の取り組みの一環として認定農業者の認定要件を緩和し、なるべく多くの農家が対象となるように国や県に働きかけてはどうか。

**A** 認定農業は、農業経営基盤強化促進法に基づき、農業者が5年後の経営改善目標を記載した農業経営改善計画を、市が市の基本構想と照らし合わせ認定する制度となっており、地域の中心的役割を担う意欲ある認定農業者を増やしていくことが重要と考えております。

**Q** 雪バンクを組織し、高齢者世帯等に迅速な除雪体制が出来るようにしてはどうか。

**A** 本市では、社会福祉協議会の連携事業として、区長、民生委員にご協力をいただき、福祉ネットワーク(福祉隣組)づくりを推進している。地域の独居高齢者世帯に対し福祉協力員を配置している活動は、見守り、安否確認から、家事援助、通院時の介助のほか、玄関先の雪払い、雪下ろし、軒下の除排雪など行っている。今後、福祉隣組を支援し強化して行きたい。



**Q** 民間企業が進めている業務改善提案制度を市役所内の業務にも取り入れて市民サービスの向上と職員のスキルアップに繋げ、成果があつたものについては昇給考課にも反映させるべきである。

**A** 業務改善については、全職員を対象に基礎的な業務改善研修や中間管理職向けに事務処理ミス防止研修などを実施し、各課において、業務手順確認、マニュアルの整備など行つて来た。また、効率的な行政運営による市民サービス向上を図るため、所属長からなる行政改革推進本部と各課の中堅職員からなる事務改善委員会を設置し、進捗状況を市の公式HPで公表している。



青野 隆一議員

**Q** 若者定住策として市有地や空き家などを活用して、無償でも宅地供給する覚悟ある政策が必要ではないか。

**A** 今年度、空き家など実態調査を行い、他市町村の事例も参考にし、庁内で総合的に検討を進めたい。



**Q** 山形95号「雪さらり」を、高価格で販売する戦略をうかがいたい。農業の企業化や新

### 庁舎は規模の縮小を！

たな雇用を創出するため、農業公社を設立してはどうか。

**A** 「雪さらり」収穫後試食会や食味検査、品評会への出展、宿泊客へのモニタリングなど計画し、ブランド化に取り組みたい。農業公社は採算性と作業受託事業の効率性の面でさまざまな課題があり、時期尚早と考える。

**Q** 新庁舎建設は、悠美館などを活用して規模を縮小すべきだが、市民や職員の安全面で建設の先送りはできない。市長の考えは何か。

**A** 人命第一、早期の建て替えが必要と考える。先延ばしした場合、国の財政支援制度が継続されるか、労務費・資材単価がどうなるのか、今の段階では判断できない。まずは基本

設計を取りまとめ、市場動向を加味しながら、議会でも十分協議し、総合的に判断したい。

**Q** 子育て支援医療費助成方法を現物給付にしてはどうか。

**A** 新年度に向けて前向きに検討したい。

**Q** 子どものインフルエンザ予防接種の助成をしてはどうか。

**A** 重要な予防接種と認識しており、国や他市の動向を注視し、助成制度を検討したい。

### 期日前投票の簡素化を



小関 英子議員

**Q** 過去3回の市議会議員選挙において、全投票者のうち期日前投票を利用した投票者の割合の推移はどうか。

**A** 期日前投票の受付がスムーズにできるよう(宣誓書(請求書)を事前に自宅で記入可能にし)期日前投票を推進当日の投票時間の短縮を図ってはどうか。

**Q** また、来年選挙権の年齢が18歳以上に引き下げられるが周知と対応はどうか。

**A** 平成19年9・07%、23年13・38%、27年19・41%と利用者が着実に増加している。期日前投票の手続きは、「投票用紙請求書兼宣誓

書」に「選挙期日にこられない理由」の記入と署名をいただく事になつている。選挙年齢が「満18歳以上」の対象者は、高校生、大学生・社会人となるため、国・県や教育機関と協調して周知を図って行きたい。

**Q** 各地区において自主防災会の活動がされていますが、高齢化が進むなか、いざという時に自主防災会が機能できるようにどのような対策がなされているか。

**A** また、防災行政無線完成後アメダスなどの情報は市民の安全安心のためにどう有効活用する予定か。

**A** 災害時に備え、自主防災組織の訓練を行つているが、未実施の自主防災会に対しては働きかけている。支



援として、「防災資材購入補助事業」「向上支援事業」を実施している。

**Q** 地域主催や市主催のイベントが多く行われているが、イベント会社に場所を提供し企画運営を任せるなど若い方々が多く参加できるようにイベントを開催してはどうか。

**A** イベント開催にあたり、スタッフの確保が難しい場合もあり、イベント会社に委託するのにもひとつの選択肢ではあるが、誰のためかを振り返りながら、より良い運営方法について今後も検討したい。

### 尾花沢すいかの ブランド力向上を



鈴木 裕雅議員

**Q** 「尾花沢すいか」のブランド力を向上させるための施策と課題は何か。

**A** 選果施設での品質の高いすいかを出荷する生産体制を確立し、全国へブランド力を図るため関東・関西でのトップセールス、銀座アンテナショップ・県内外各種イベント・山形空港等PR活動を行い、道の駅「花笠の里ねまる」で「第一回尾花沢すいかコンテスト」を開催した。「尾花沢すいかサイダー」の次に「すいか化粧品原料」を商品開発中である。課題は栽培農家の高齢化や担い手不足、

気象変動に対応出来る栽培技術の確立などである。

**Q** 雇用を確保するために、豪雪地というハンディキャップを克服し「企業誘致」するか、また、「既存企業の支援」はどうか。

**A** 新規立地企業には、企業立地促進条例に基づき用地取得奨励金、新たに雪対策奨励金を創設し、除雪機械などの購入や除雪経費への補助を実施している。既存企業についても新たに中小企業者等雪対策設備設置補助金を創設し雪対策支援の充実を図っている。

**Q** 定住を促進するため、市外から新たな市民を迎えるだけでなく、市内に暮らす市民の方々に住み続けていただく施策も重要と考えられている。次の点を問う。

市内で暮らす市職員の割合と、尾花沢に住んでこそ市職員としてよい仕事が出来るとはでないか。市外転出を防ぐためどのような施策を講じているか。

**A** 市内に居住する職員数は230名、割合は91%となる。職員採用時に「尾花沢市に居住できる者」としているが、結婚や諸事情により市外より通勤の職員がいる。この職員もまた尾花沢を深く愛し、市職員としての自覚を持ち業務に当たっていることをご理解願いたい。本市で暮し続けていたため、「ふるさと暮らし応援事業」により定住対策を講じているほかに、「住宅取得等助成事業」「若者民間賃貸住宅等家賃助成事業」「居住空間無雪化支援事業」「住宅リホーム事業」など取り組んでいる。

### 本町地区の観光を活かした道路整備の実施を



加藤 克彦議員

**Q** 新庁舎建設を市民に対し丁寧な説明が必要だと思いが今後の予定は、また新庁舎のコスト削減策についての考えはどうか。

**A** 市報・HPでお知らせするとともに、検討委員会や意見交換会・ワークショップ等の開催も含め、市民の皆様方の意見交換の場を設け、ご理解が得られるよう取り組みたい。また、全庁的にスペースの共有化を図ること、コスト削減に努めたい。

**Q** 雪きらり(山形95号)ブランドPRと販売戦略はどうか。  
**A** 新米穫後に試食会

や食味検査・品評会への出品を考えている。また、モニタリングや銀座アンテナショップでのPRなど販売戦略の構築に努めたい。

**Q** 地域のお宝探しを全地域で実施して地域資源を活かした地域づくりと文化の伝承を図ってはどうか。

**A** 地域のお宝は、その地域の自然景観、歴史文化、名所旧跡から郷土料理、伝統行事、名人など多岐にわたっている。お宝探しを契機に地域の住民が話し合い、行動を起こすことが、元気な地域づくり実現への第一歩と考える。

**Q** 花笠おどりを行う花笠通り振興会商店街の道路整備の考えはどうか、本町地区の名称旧跡を結ぶ散策道の整備の考えはどうか。

**A** 旧街道の昔の町並みのイメージが残る「花笠通り振興会商店街」は、平成27年改定の「都市計画マスタープラン」では、市街地の主要幹線道路として中心市街地活性化策と交流人口増加のための景観に配慮した整備を検討していくこととしているが、現段階で具体的な整備計画はない状況です。本町地区には、「芭蕉・清風歴史資料館」や「養泉寺」「諏訪神社」「念通寺」など、松尾芭蕉ゆかりの史跡をはじめ、観光資源となり得る名所旧跡があるので周遊コースの検討を進めたい。



### 庁舎の建設について



奥山 格議員

**Q** 意見交換会に出たが、東京オリンピックのために資材も人件費も高騰するので、工事費が高くなるのではないかと。オリンピックが終わるまで新庁舎の建設を延期できないかと言った発言についてどう考えるか。

**A** 労務費や資材単価が東京五輪後に落ち着くか高止まりか判断が難しい。まずは基本設計をまとめ、概算事業費を積算し、建設時期について議会と十分協議し総合的に判断したい。

**Q** 新庁舎素案の平面計画図で、1階のエンタランスが東側にある

が、大きい駐車場から遠く不便ではないか。2階、3階についても適切な部屋の配置とは言えない。見直すべきではないか。

**A** 新庁舎では、冬期の北西からの風雪を考慮し、南と東側出入口を配置し、約100台の駐車スペースを確保したい。平面図レイアウトについては、7月の意見交換会で、ご意見をいただいたが、今後もご意見をいただきたい。

**Q** 市内企業の技術的なレベルアップを図るための支援も必要ではないか。

**A** 企業懇談会と連携し、先進的企業への視察研修を実施しているほか、指導助言を行うとともに、県からアドバイザー派遣を行うなど国・県の事業など活

用しながら技術力の向上に取り組んでいる。  
**Q** 既存企業に対して企業拡大の支援策はどうか。

**A** 本市の雇用創出に繋がる増設や移設の事業に対し、企業立地促進条例及び中小企業振興条例に基づいた支援制度を設けている。

**Q** 定額補助金が半減され米価も下がっている。その後の国の支援策はないか。

**A** 国では27年産の生産に向け「稲作農業の体質強化緊急対策事業」を実施し、主食用米のコスト削減に取り組む農家への支援を行っている。また米価下落を受け、収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)・ナラシ円滑化対策を加入・非加入農家へ講じている。

### 戦後70年、尾花沢の平和を守るためにはどうすればよいか



鈴木 清議員

**Q** 戦後70年を迎えた今「安倍談話」「安全保障関連法案」についての考えはどうか。

**A** 世界の平和と繁栄のために、「安倍談話」は過去の談話を踏まえ「積極的平和主義」の考えであり、国会の最大の争点である「安全保障関連法案」は国内外で様々な意見がある。

**Q** 先の大戦で、本市において85名の多くの方が犠牲になつていますが、平和都市を宣言するまちとして、平和を引き継ぐための施策、例えば、「尾花沢の戦争と平和展」や「戦争体験を語る会」などを

考えてはどうか。

**A** 「尾花沢市平和都市宣言」が30周年を迎へ、恒久平和を次世代に引き継ぐことが我々世代に課せられた責務である。昨年は「山形県戦没者追悼式」が挙行され、今年11月に「平和を願う集い」が開催予定である。

**Q** 中国語・韓国語などの語学教室を通じて、民間レベルの国際交流を深めてはどうか。

**A** 市では国際交流協会を設置し、日本語教室を開催してきた。語学教室は受講者がいなくなり現在休止している。

**Q** 全国的に学校給食費の未払いが問題となつているが本市の現状はどうか。給食は教育の一環であるため、学校給食を無料にし、子育て支援を行い、子

育てるなら尾花沢をアピールしてはどうか。

**A** 給食費納入については、小学校では未納ゼロ、中学校では平成26年に2件の未納があった。学校給食法では、給食調理場など施設・設備の維持管理費と人件費は自治体負担とされ、食材費は保護者負担と定められている。給食費無料化は有効な子育て支援策と考えるものの、6千6百万円程必要となることから財源の確保が課題となる。実施は県内の動向を注視しながら慎重に対応してまいりたい。



### 庁舎建設の財政負担の軽減と市民への十分な説明を



菅根 光雄議員

**Q** 今後の財政見通しと庁舎建設基金をどれほど積み増していくのか。

**A** 基本計画で想定した事業費30億円がベースとなり、特定財源として国庫補助金1億1千万円、庁舎建設基金繰入金12億円、市債14億2千万円を見込んでおり、差引き一般財源の持ち出しが2億7千万円と想定している。基金は可能な限り積み立てし、将来負担の軽減に努めたい。

**Q** 庁舎建設により実質公債費比率が起債返還時から上昇することが想定されるが、有利な起債を活用し年間負

担をいかに少なくしていくのか。

**A** 交付税措置のある過疎対策事業債や緊急防災減債事業債を最大限活用することで、上昇幅を抑制したい。

**Q** これまで市民の要望にこたえる投資的事業費を抑えてきたが次年度に積極的な予算を盛り込む考えはどうか。

**A** あれもこれもではなく、あれかこれかの取捨選択により健全財政を維持しつつ、将来に繋がる事業等も含めて、可能な限り積極的に事業を展開したい。

**Q** 民間活力を活かし、尾花沢創生のために市として何が出来るかを研究し、助成を積極的にやるべきではないか。

**A** 行政が取り組む部分、民間が取り組める部分の中で、互いに協力しながら、活気ある

まちづくりに取り組むたい。

**Q** 家庭介護は年々増加する。介護者に対するケアと支援を真剣に考えるときに来ているのではないか。

**A** 住宅で介護を行う家族の負担軽減のために、「介護用品支給事業」「家族介護者交流激励支援事業」を実施している。

**Q** 尾花沢中学校の北門周辺整備を早急に取組み、スクールバスの安全運行とグラウンドの有効活用を急ぐべきではないか。

**A** 限られた学校用地を有効活用できるように尾花沢中学校全体の整備計画を策定し、学校環境・駐車場・グラウンドの夜間照明整備に努めて行きたい。

# 2015年 ザ・選挙 公費負担

公費負担とは選挙に関する費用の一部を地方自治体が条例で負担することです。

県内各市の選挙公費状況

市町村名	7日間の選挙用自動車代(円)				選挙用ポスター作成代(円)	
	運送業者契約	左契約によらない場合			一箇所単価	加算額
		車借上代	燃料代	運転手代		
山形市	451,500	107,100	51,450	87,500	510.48	301,875
米沢市						
鶴岡市						
酒田市						
新庄市						
寒河江市						
上山市						
村山市						
天童市	451,500	107,100	51,450	87,500	510.48	100,625
東根市						
長井市						
南陽市	451,500	107,100	51,450	87,500	510.48	201,250
尾花沢市	0	0	0	0	0.00	0

◎上記のように、山形県内13市のうち尾花沢市以外の12市で公費負担が行われています。  
 ◎尾花沢市においては、選挙用ハガキの郵送代(@52円×上限2,000枚=104,000円)のみが公費で負担されています。

# 広域組合議会の報告

## 尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会議員の改選に伴い、8月18日に臨時会が開催され、議長に遠藤宏司氏、副議長に加藤克彦氏を選任、議会運営委員長に村岡藤弥氏、衛生常任委員長及び議会運営副委員長に菅根光雄氏、水道常任副委員長に小関英子氏が選任されました。

また、10月22日開催された10月定例会では、平成26年度会計決算3件を認定、水道事業会計剰金の処分に関する1議案を可決し閉会したが、本年度から着工がはじまった建設中のし尿処理場の入札に際しての技術提案書の開示を求めた情報公開を受け入れて欲しいとの加藤克彦議員一般質問に対し管理者側では「公共工事の品質を確保する基本方針と環境省の入札契約手引きに準じて入札を行っているため公表出来ない」と答弁、更にこれに対して加藤議員から入札が不透明であるとして百条委員会の設置を求める動議が提出され、採決の結果賛成2、反対7で否決された。

※し尿処理場(平成28年11月稼働予定)の入札は県外4者による総合評価一般競争入札で行われ、仙台市の総合水事業会社「ring東北支店」が11億9千800万円で落札した。

## 北村山広域行政組合議会

10月2日村山市議場にて定例会を開き、東根市と尾花沢市議会の議会改選に伴う副議長選を行い、青野隆一議員を指名推薦で

選出、議会運営副委員長に塩原未知子議員を選任しました。

また、北村山視聴覚センターの主な事業については、平成26年度の利用者数、回数ともに減少となったが、利用拡大については、学校教育の他、老人クラブや各団体の鑑賞会などの取り組みをすすめました。さらに情報提供やフェイスブックを活用した広報を取り入れ利用拡大を望み、平成26年度の一般会計決算を認定しました。

### 採択された請願

TPP交渉にかかる国会決議の実現に関する請願

平成25年4月衆参の農林水産委員会で開催された国会決議を実現するための意見書提出について  
 みちのく村山農業協同組合 代表理事組合長 高谷 尚市

### 可決された意見書

TPP交渉に係る国会決議の実現に関する意見書

食品の安全・安心および食料の安定生産を損なわないこと。  
 国の主権を損なうようなISD条項に合意しないこと。  
 農林水産分野の重要品目などの聖域を確保できない場合は脱退も辞さないこと。  
 先の国会決議を必ず実現するよう、政府に対し強く要望します。

## 報告1

### 議員辞職により議員数1人減

7月に行われた尾花沢市議会議員選挙で、公職選挙法違反の罪で逮捕、起訴されていた鈴木敏正前議長に対して、尾花沢市議会では2回の辞職勧告決議案を可決していましたが、10月13日、菅野修一議長に辞職願を提出し、受理許可されました。

公選法の規定で市議選が行われてから3ヶ月以内となる10月12日を過ぎているため、法定得票に達していた次点の候補者の繰り上げ当選は認められず、欠員1となり、現議員数15人になりました。  
 また、10月14日の判決公判で、懲役1年6ヶ月、執行猶予5年の有罪判決が言い渡されました。

## 報告2

### 9月11日未明

### 銀山温泉避難勧告発令

大雨に係る被害状況などについて

県内では、台風18号から変わった温帯低気圧が日本海中部を北東へ進むとともに、台風17号が日本の東を北上し、11日にかけて大雨となりました。降り始め(6日0時)から11日16時までの総雨量(アメダス速報値)尾花沢138mm。この大雨の影響により、銀山温泉街に初

